
第4次八尾市地域福祉計画 進捗状況

第4次八尾市地域福祉計画 体系図（基本目標と実行計画等）

基本目標	実行計画	具体的な取組	取組み内容	令和4年度 取り組み件数	令和5年度 取り組み件数	令和5年度追加取り組み（【資料1-2】該当ページ）	
1 身近な地域でつながり 支え合う基盤づくり	(1)地域福祉への意識、 関心の啓発・醸成	① 地域福祉のおもしろさを拡散する	① 「地域福祉」が目に入る機会を増やす	4	4		
			② 地域福祉の「プラットフォーム」をつくる	1	1		
			③ 地域福祉の「広告塔」をつくる	0	1	・重層的支援体制整備事業（2）	
		② 福祉のこころを育てる	① さまざまな人がつどい学べる場をつくる	2	2		
			② 地域の人がかどもたちの福祉の芽を育てる	0	1	・重層的支援体制整備事業（3）	
			③ 多様性を理解する機会を増やす	3	3		
	(2)地域力向上に向けた 支援	① 地域の「やってみたい」「やってみよう」を応援する	① 地域活動をする人や団体に光をあてる	2	4	・子どもの居場所づくり事業（14） ・子ども・若者育成支援提案事業（16）	
			② 大学生、民間企業などさまざまな主体と地域をつなげる	0	5	・重層的支援体制整備事業（2） ・福祉人材養成事業（5） ・居住支援にかかる取り組み（6） ・地域介護予防活動支援事業（9） ・子どもの居場所づくり事業（15）	
			③ 地域福祉活動のスタートダッシュを応援	2	4	・子どもの居場所づくり事業（14） ・子ども・若者育成支援提案事業（16）	
		② 地域づくりのプロフェッショナルをつくる	① 社協コミュニティワークの充実	1	1		
			② 地域づくりのコーディネーターのプロをつくる	1	1		
		③ 地域福祉活動の見せる化	① お互いをほめるしくみをつくる	1	1		
	② お互いのよりどころを見せ合う場をつくる		1	2	・子どもの居場所づくり事業（14）		
	(3)見守り・早期発見の しくみづくり	① 地域の「見つける力」を高める	① 八尾市民の「ほっとかれへん」を目覚めさせる	2	2		
			② 「気づき」をレベルアップするための経験をつむ	1	2	・子どもの居場所づくり事業（14）	
			③ つなげる「キーパーソン」をつくる	3	4	・子どもの居場所づくり事業（14）	
		② 地域の「見つける力」をつなげる	① 見つけたものを気軽に共有するしくみをつくる	0	3	・重層的支援体制整備事業（3） ・災害時要配慮者支援事業（13） ・子どもの居場所づくり事業（14）	
			② 「□□」ついでに立ち寄れる場をつくる	2	3	・子どもの居場所づくり事業（14）	
			③ 「△△」すぎてワクワクする場をつくる	7	7		
	2 多様な主体の参加支援 と連携・協働の推進	(1)幅広い市民の参加促進	① 交流の場、居場所づくり	① 「□□」ついでに立ち寄れる場をつくる	2	3	・子どもの居場所づくり事業（14）
				② 「△△」すぎてワクワクする場をつくる	7	7	
③ 時間にとらわれず活動できる場をつくる				0	1	・重層的支援体制整備事業（4）	
② 地域で活躍する場や機会をつくる （おせっかい活動をひろげる）			② 「すぎ」や「とくい」を生かせる活動を増やす	4	4		
			③ こどもの頃から地域のおせっかいにふれる原体験をつくる	0	3	・重層的支援体制整備事業（3） ・認知症サポーター養成事業（10） ・子どもの居場所づくり事業（14）	
			④ おせっかい応援制度をつくる	1	1		
(2)地域福祉の担い手の すそ野拡大		① 「おせっかい人材」を見つける、育てる	① 「おせっかい達人」の発掘	6	6		
			② 「おせっかい人材」を養育する研修の開催	4	4		
		② ボランティア団体を地域へつなげる	① 地域ニーズにそったボランティアを増やす	2	2		
			② ボランティア活動のにぎわいをつくる	3	4	・子ども・若者育成支援提案事業（16）	
		③ たすけあい有償活動をひろげる	① 住民の「困った」と「役立ちたい」をマッチング	0	1	・八尾市見守り推進事業（7）	
			② 住民の「とくい」を生かせる有償活動	1	1		
④ 福祉のプロを育てる	① 福祉人材の魅力を伝える	1	1				
	② 専門性を高める研修や職場内教育（OJT）を実施する	1	1				
	③ 社協・社会福祉法人やサービス事業者等と一緒に福祉のプロを育てる	0	2	・重層的支援体制整備事業（3） ・介護予防・生活支援サービス事業（11）			

基本目標	実行計画	具体的な取組	取組み内容	令和4年度 取り組み件数	令和5年度 取り組み件数	令和5年度追加取り組み（【資料1-2】該当ページ）
	(3)多様な主体との連携強化	① 企業・NPO・学校等とつながる	① 企業と福祉の接点を地域でつくる	16	17	・子どもの居場所づくり事業（14）
			② NPOの強みを地域福祉活動につなげる	1	1	
			③ 学校等とのコラボレーション	1	1	
		② 社会福祉法人の活躍の見える化	① 社会福祉法人の取組の見える化	1	1	・重層的支援体制整備事業（4）
			② 地域のニーズにあった地域貢献活動をひろめる	0	1	
		③ 八尾市社会福祉協議会とともにめざす「地域福祉の推進」	① さまざまな場や機会を社協と共有する	1	2	・子どもの居場所づくり事業（14）
② 地域福祉活動計画との一体的な推進	1		1			
3 身近な地域で支援が届くしくみづくり	(1)地域の権利擁護の推進	① 暴力・虐待に「気づく」「見つける」「声をかける」「つなぐ」	① 地域で「暴力・虐待を許さない意識」を高める	0	1	・児童虐待対策事業（18）
			② 早期発見・早期対応に向けた取組を行う	4	5	
	② 認知症になっても、障がいがあっても自分らしく暮らせる	① 認知症になっても、障がいがあっても住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう「八尾市成年後見制度利用促進計画」を策定し、取組を進める。	5	5		
			① 誰ひとり取り残さない相談窓口	① どこにもつながらない相談を受け止める	3	3
	② 早く気づく、早く支援につなげる	5		5		
	② 自立への支援	① 社会参加の場の開拓や創出	3	3		
		② 就労訓練、就労の場の開拓や創出	5	5		
	③ たくさんの人や支援がつながる	① いろんな分野に福祉がつながる	3	3		
			② 地域で気づく、地域で見守る	0	4	・重層的支援体制整備事業（3） ・八尾市見守り推進事業（7） ・見守りネットワーク推進事業（12） ・児童虐待対策事業（18）
	(3)災害時要配慮者への支援づくり	① 災害時要配慮者への支援づくり	① 「八尾市避難行動要支援者支援マニュアル」の周知と、それを活用した実効性のある避難支援	2	2	
			② 誰ひとり取り残さないための実態把握	2	2	
			③ 福祉避難所の充実	0	1	・災害時要配慮者支援事業（13）
	② 発災時に備えた日ごろからのつながりづくり	①	① 同意者リストの地域での活用	5	5	
			② 「つなげる支援室」が、ケースにあわせた支援チームをつくる	1	1	
	(4)支援機関協働による地域生活課題を解決するしくみづくり	① 断らない相談支援体制づくり	② 支援機関がスムーズに連携できる個人情報の管理や共有ルールをつくる	1	1	
			③ さまざまな分野が支援に加わる場や機会をつくる	2	2	
			④ ちょっとした変化や異変に「気づける」市役所をつくる	1	1	
			⑤ 困難なケースにもしっかり向き合い支援できる専門職をつくる	1	1	

基本目標 1 身近な地域でつながり支え合う基盤づくり

概要
<p>地域を舞台にさまざまな人や団体が行っている「おせっかい」活動をもっともっとパワーアップさせるため、社協や出張所、人権コミュニティセンター（隣保館）などが、新たな事業展開や環境整備を地域とともに進めていきます。そして、すべての人がしあわせを感じるまちにするため、地域を拠点とするあらゆる機関、あらゆる人が支え手・受け手の関係を越えて、つながり、支え合う基盤づくりを行っていきます。</p>

アウトカム指標					
地域での福祉活動が活発だと思ふ市民の割合					
R3	R4	R5		R6	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
30.9	27.9	60	30	60	

実行計画（1）						実行計画（2）						実行計画（3）											
地域福祉への意識、関心の啓発・醸成						地域力向上に向けた支援						見守り・早期発見のしくみづくり											
アウトプット指標						アウトプット指標						アウトプット指標											
さまざまな人がつどい学べる場の修了者数						八尾市地域福祉推進基金活用件数						高齢者見守り活動協力事業者数											
R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
56	75	75	74	80		8	6	10	7	10		642	655	725	660	730		2	5	20	5	28	
具体的な取組① 地域福祉のおもしろさを拡散する						具体的な取組① 地域の「やってみよう」「やってみよう」を応援する						具体的な取組① 地域の「見つける力」を高める											
ビックアップ指標			4	障がい者フォーラム来場者数			ビックアップ指標			12	地域福祉推進基金事業助成団体数(再掲)			ビックアップ指標			15	小地域ネットワーク活動の個別援助活動対象者数					
R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6							
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値							
645	483	200	300	200		8	6	10	7	10		57,139	63,226	60,000	65,000	60,000							
具体的な取組② 福祉のこころを育てる						具体的な取組② 地域づくりのプロフェッショナルをつくる						具体的な取組② 地域の「見つける力」をつなげる											
ビックアップ指標			6	認知症サポーター数			ビックアップ指標			14	地域相談件数(小地域ネットワーク活動事業)			ビックアップ指標			15	小地域ネットワーク活動の個別援助活動対象者数(再掲)					
R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6							
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値							
15,292	14,800	16,100	16,100	17,400		2,406	1,894	768	1,894	768		57,139	63,226	60,000	65,000	60,000							
具体的な取組③ 人権の視点に立った地域をつくる						具体的な取組③ 地域福祉活動の見せる化																	
ビックアップ指標			7	人権啓発事業の参加者数			ビックアップ指標			12	地域福祉推進基金事業助成団体数(再掲)												
R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6													
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値													
965	944	1,630	2,230	1,640		8	6	10	7	10													

令和5年度

①八尾市地域福祉推進基金活用事業において、実績報告会の様子を動画公開するなど新規申請団体を増やすための工夫を行い、「おせっかい」活動がより地域で活発に展開できる取り組みを進めた。また、デジタルサポーター養成講座の受講者が地域福祉推進基金活用事業の助成金を活用し、地域でスマートフォンの利用方法等に関する相談会を開催するなど、社会福祉協議会コミュニティワーカーや出張所と連携しながら地域福祉活動を活性化することができた。

②小地域ネットワーク活動事業において、個別支援の対象者を地域で見守っていくための仕組みなど、活動をよりよくしていくための見直しを図ること等を目的に、社会福祉協議会において、市内全32の地区福祉委員会に対して、これまでの取り組みの成果や課題、地域ニーズなどの聞き取りを行った。

③重層的支援体制の整備を進める中で、各課で把握している地域資源を共有して、世代や属性を越えて交流できる場や居場所等の発掘及び開発について議論を行った。

また、市民や事業所に対し、地域福祉の意識・感心をもってもらうためにみせるばやおや民間企業等と連携し、地域のイベントに出展し啓発活動を行った。

さらに、出張所等と連携し、地域の関係機関・団体や民間企業等に向けた出前講座を行い、地域との交流、意見交換の場を設けることでつながりを強化した。

次年度に向けて

①小規模団体等からも地域福祉推進基金活用事業の助成金に新規申請いただけるよう、これまでの広報手法に加え、地域資源マップを参考に直接こども食堂等の地域資源に働きかけるなど、地域のキーパーソンにも周知することで、地域福祉活動のきっかけをつくるとともに団体同士の相乗効果を図る。

また、基金活用後も継続して活動し続けられるよう好事例を紹介したり、社会福祉協議会や出張所と連携しながら、地域でつながり支え合う仕組みを一緒に考えていく。

②小地域ネットワーク活動事業において、地区福祉委員会へのヒアリング結果を踏まえ、グループ支援の在り方の再検討を行っていく。特に、社会福祉協議会コミュニティワーカーがコーディネートし、個別援助活動において課題が明らかとなった方をグループ援助活動へつなげ継続的に地域で見守っていくしくみを強化する。

③重層的支援体制の中で、地域資源を効果的に活用するためのネットワークの構築や、高齢・障がい・こども・生活困窮等の各分野において実施されている既存の地域資源及び地域住民が主体となって活動されている行事や事業所が独自で行っている活動に対しても、積極的に情報収集し、可能な限り把握して連携しつつ、社会福祉協議会コミュニティワーカーや社会福祉法人、出張所等と連携し、世代や属性を越えて交流できる場や居場所等の開発等、地域づくりをさらに進める。

基本目標2 多様な主体の参加支援と連携・協働の推進

概要
身近な地域で心の通う人間関係を育むことや、一人ひとりが身近な地域を舞台に個性や創造性を発揮しながら役割を担っていくことは、人に安心感を与えるだけでなく、生活の豊かさの幅をひろげることに繋がります。地域に住まう、また、活動するすべての人が、地域を好きになり、しあわせを感じて暮らしていけるよう、おせっかいを実行します。

アウトカム指標					
地域活動や市民活動に参加した経験がある市民の割合					
R3	R4	R5		R6	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
40.9	38.8	60	40	60	

実行計画(1)					実行計画(2)					実行計画(3)													
幅広い市民の参加促進					地域福祉の担い手のすそ野拡大					多様な主体との連携強化													
アウトプット指標					アウトプット指標					アウトプット指標													
地域資源マップ登録者件数					地域の福祉活動に関わっているボランティアセンターにおける福祉ボランティア登録者数					市民後見人バンク登録者数					地域内のさまざまな主体での会議回数(高齢者、障がい者、学校園等、保育所(園)、児童に関する地域内施設等)								
R3	R4	R5		R6	R3	R4	R5		R6	R3	R4	R5		R6	R3	R4	R5		R6				
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値				
319	321	350	323	360	1,741	1,623	1,890	1,623	1,900	31	31	48	37	50	53	58	69	62	69				
具体的な取組① 交流の場、居場所づくり					具体的な取組① 「おせっかい人材」を見つける、育てる					具体的な取組④ 福祉のプロを育てる					具体的な取組① 企業・NPO・学校等とつながる								
ピックアップ指標		25	高齢者ふれあいサロン登録数			ピックアップ指標		33	講座や研修の定員に対する参加率もしくは、1クールあたりの出席率(デジタルサポーター養成)			ピックアップ指標		37	子育て支援員研修修了者数			ピックアップ指標		52	包括連携協定を締結した企業や大学等と、連携した取り組みを行った数		
R3	R4	R5		R6	R3	R4	R5		R6	R3	R4	R5		R6	R3	R4	R5		R6				
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値				
6	6	9	5	10	88	85	90	90	90	37	38	40	95	40	73	89	93	93	99				
具体的な取組② 地域で活動する場や機会をつくる(おせっかい活動をひろげる)					具体的な取組② ボランティア団体を地域へつなげる					具体的な取組③ 八尾市社会福祉協議会とともにめざす「地域福祉の推進」					具体的な取組② 社会福祉法人の活躍の見える化								
ピックアップ指標		27	自主活動グループ数			ピックアップ指標		30	地域の福祉活動に関わっているボランティアセンターにおける福祉ボランティア登録者数(再掲)						ピックアップ指標		55	社会福祉法人の活動掲載件数					
R3	R4	R5		R6	R3	R4	R5		R6						R3	R4	R5		R6				
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値				
35	38	45	40	50	1,741	1,623	1,890	1,623	1,900	-	1	5	2	10									
					具体的な取組③ たすけあい有償活動をひろげる										具体的な取組③ 八尾市社会福祉協議会とともにめざす「地域福祉の推進」								
					ピックアップ指標		36	年間就業率(シルバー人材センター)							ピックアップ指標		56	社会福祉協議会との会議数					
					R3	R4	R5		R6						R3	R4	R5		R6				
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値									
					85.2	82.1	78	78	78	120	120	120	120	120									

令和5年度	<p>①「おせっかい人材」の発掘や担い手を育成するため、社会福祉協議会や出張所、関係機関等と連携しながらデジタルサポーター養成講座の受講者募集や、すでに活動を始めているデジタルサポーターの活動内容の周知と活動の場の提供を行った。また、大学との連携により、学生ボランティアの地域活動への参加及び次世代の福祉の担い手を育成した。</p> <p>②社会福祉協議会が事務局である社会福祉施設連絡会等での協議、及びコミュニティソーシャルワーカー等とともに、地域で既に居場所づくりをしている企業や団体等、多様な主体と情報共有を行い連携してきた。実際の個別の支援ケースでは、コミュニティソーシャルワーカーと連携を図り、相談支援の強化と地域づくりを充実させ、仕組みの構築を進めた。また、相談支援を通して、地域で公益事業を行っている社会福祉法人等と連携し、地域の居場所等の見守り機関につなげることができた。</p> <p>③高齢者や障がい者、生活困窮者、子育て世帯、外国人など、住宅確保要配慮者の属性が広がりを見せ顕在化する中で、住まいの困りごとに対して居住支援法人と社会福祉協議会、市とが連携できる関係づくりを行った。</p>
-------	---

次年度に	<p>①「おせっかい人材」の発掘・育成につながるようSNSを活用して福祉人材の仲間が増える取り組みを行い、空いた時間に気軽に参加できるしくみを整える。また、社会福祉協議会コミュニティワーカーや関係機関等と連携しながら、地域で何かやってみたいと思う人を福祉ボランティア活動へとつなげていく。</p> <p>②社会福祉施設連絡会を協働の基盤(プラットフォーム)として継続的に連携し、社会福祉法人などの多様な主体とのさらなるネットワークの強化を図ることにより、相談支援の強化と地域づくりの充実をさらに進めていく。</p> <p>③地域ニーズにあった安心できる環境づくりのため、居住支援法人と社会福祉協議会、市の建築部局と連携を強化し、事業者や関係機関とともに地域福祉の推進をしていけるよう、居住支援協議会の設立も含め検討を進めていく。</p>
------	--

基本目標3 身近な地域で支援が届くしくみづくり

概要
<p>介護、障がい、児童、生活困窮、医療・保健、権利擁護などの暮らしを支える関係事業の充実を図るとともに、地域で盛んに行われている地域福祉活動と情報を共有し、専門機関等がしっかりとタッグを組んで課題解決に向けて取り組んでいけるよう、課題を抱える人や世帯をまるごと支援する専門職等によるおせっかい体制をつくります。また、これらの課題等に対し、専門職等がスムーズに支援タッグを組めるよう、地域で困りごとにしっかりと向き合い、活動する福祉生活相談支援員等を巻き込みながら、コーディネートする「つなげる支援室」を新たに設置し、誰ひとり取り残さない支援を行います。</p>

アウトカム指標					
つなげる支援室で支援調整などを行った件数					
R3	R4	R5		R6	
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値	
128	105	150	130	200	

実行計画（1）						実行計画（2）						実行計画（3）						実行計画（4）																
地域の権利擁護の推進						生活困窮者への支援						災害時要配慮者への支援づくり						支援機関協働による地域生活課題を解決するしくみづくり																
アウトプット指標			アウトプット指標			アウトプット指標			アウトプット指標			アウトプット指標			アウトプット指標			アウトプット指標																
権利擁護に関する相談件数（チーム派遣・個別相談・専門相談・市民後見人相談の合計）						市民後見人の受任件数						相談件数に占める生活困窮者自立支援プランを作成した割合（率）						「災害時要配慮者支援指針」に基づく同意者リスト活用小学校区数						つなげる支援室で支援調整などを行った件数										
R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6						
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		計画値	実績値	計画値	実績見込値	計画値						
261	329	200	324	200		7	7	8	9	10		46.9	32.3	50	25	50		2	5	20	5	28		128	105	150	130	200						
具体的な取組① 暴力・虐待に「気づく」「見つける」「声をかける」「つなぐ」						具体的な取組② 認知症になっても、障がいがあっても自分らしく暮らせる						具体的な取組① 誰ひとり取り残さない相談窓口						具体的な取組① 災害時要配慮者への支援づくり						具体的な取組① 断らない相談支援体制づくり										
ピックアップ指標			60	虐待通報件数（高齢介護課）			ピックアップ指標			61	市民後見人受任件数（再掲）			ピックアップ指標			64	福祉生活相談支援事業の相談件数			ピックアップ指標			78	「災害時要配慮者支援指針」に基づく同意者リスト活用小学校区数（再掲）			ピックアップ指標			80	開催回数（地域ケア会議）		
R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6						
実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		計画値	実績値	計画値	実績見込値	計画値						
162	160	150	150	150		7	7	8	9	10		262	276	290	340	310		2	5	20	5	28		152	157	162	162	167						
												具体的な取組② 自立への支援						具体的な取組② 発災時に備えた日ごろからのつながりづくり																
												ピックアップ指標			73	地域就労支援事業相談件数			ピックアップ指標			76,77	同意者リスト登録率											
												R3	R4	R5		R6		R3	R4	R5		R6												
												実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値		実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値												
1,373	1,718	1,550	1,476	1,700		31	69	51	51	51																								
												具体的な取組③ たくさんの人や支援がつながる																						
												ピックアップ指標			65	他機関や他制度と連携した件数（生活保護資金貸付）																		
												R3	R4	R5		R6																		
												実績値	実績値	計画値	実績見込値	計画値																		
125	189	140	160	150																														

<p>令和5年度まとめ</p>	<p>①中核機関（社会福祉協議会権利擁護センター）の設置以降、成年後見制度をはじめ、権利擁護に関する相談実績は着実に積みあがっているが、増加する認知症高齢者等への権利擁護支援策として、成年後見制度や日常生活自立支援事業といった既存の制度の実施に加え、新たな支援策として市民後見人やそのOB等のさらなる活躍の場の創出も目的とした持続可能な権利擁護支援モデル事業「八尾市見守り推進事業」を実施し、モデルケースを通じて身近な地域で支援が届くしくみづくりを行った。</p> <p>②8050問題やひきこもりなど複合的な課題を抱える人や世帯への対策として、新たに生活支援相談センター等にコミュニティソーシャルワーカーを設置し、アウトリーチを行ったことで誰ひとり取り残さない支援体制を整えることができた。また、福祉生活相談支援員や民生委員・児童福祉委員等と連携することで、地域での見守りや参加支援をするなど伴走型支援へとつなぐことができた。</p> <p>さらに、コミュニティソーシャルワーカーと社会福祉協議会コミュニティワーカーの連携を強化することで、地域での見守り活動や居場所へつなぐなどネットワークづくり体制を構築することができた。</p> <p>③災害時要配慮者支援事業では、これまでに構築してきた土砂災害警戒区域に居住されている避難行動要支援者の社会福祉施設へ直接避難する仕組みの定着を図ってきた。令和5年度に大雨による土砂災害発生危険性が高まった際には、福祉事業者との連携により、避難行動要支援者の直接避難支援を実施した。</p> <p>④重層的支援体制を整備する中で、相談支援体制のさらなる強化に向け、新たな組織のあり方に関する検討を行うため、プロジェクトチーム会議を設置し、協議を進めてきた。</p> <p>⑤支援が必要な社会的に孤立している人の早期発見・早期対応につながる体制の整備のために、市民向け研修会や、社会福祉協議会と連携しながら出張所の管内施設連絡会等のプラットフォームを活用し、市民へ啓発活動を行った。また、課題が解決し、地域社会に再びつなぐ際の、地域の受け皿や活躍できる居場所等の開発につながるよう、地域の関係機関や団体、民間企業等に啓発・周知した。</p>
-----------------	---

<p>次年度に向けて</p>	<p>①権利擁護支援においては、増え続ける権利擁護に関する相談に適切に対応していくため、相談職員のスキルの向上を図っていく。さらに、支援機関等に実施した「意思決定支援」に関する事例を用いた実践的な研修を引き続き実施することで、権利擁護に関する意識の醸成を図っていく。また、令和4年度より取り組みを開始した「八尾市見守り推進事業」を国や実施自治体と協議しながら進めていくことで、権利擁護支援における課題解消を図っていく。</p> <p>②課題を抱える人や世帯に対して過去の状況から現状を聞きとり、その中から課題整理を行いながら相談者と一緒にプランを作成し、自立へと導くことができるよう相談員の対応力、生活支援相談センターの組織力向上をめざす。また、生活課題に対し、地域資源や地域の居場所につながるよう社会福祉協議会コミュニティワーカーや関係機関等との連携を強化させ、地域における共助の取り組みを活性化させる。</p> <p>③災害時要配慮者支援事業については、今年度、避難行動要支援者の社会福祉施設への直接避難を実際に支援したことで得ることができた課題や懸念事項について、社会福祉事業者と意見交換を行い、さらなる仕組みの改善に取り組んでいく。また、地区防災計画の策定にあわせ、災害時に誰も取り残されることなく、安全に避難できることをめざし、同意者リストや個別避難計画を活用した避難時の声掛けや災害に備えた準備が進むよう取り組んでいく。</p> <p>④相談支援体制のさらなる強化に向け、多機関協働で進めるチーム支援の中に専門的な視点のある関係機関も含めた協力体制をさらに進めるため、プロジェクトチーム会議を来年度以降も継続的に、分野ごとにある専門的な関係機関に横申しを刺すための仕掛けを検討し、庁内外の関係機関のネットワークを強化していく。</p>
----------------	---